

# LIXILの社内CCoEの これまでとこれから

株式会社LIXIL  
Digital部門 システムインフラ部 技術開発室  
橋本 守 / 辰巳 百絵子



## › 自己紹介



橋本 守 (はしもと まもる)

株式会社LIXIL

Digital部門 システムインフラ部 技術開発室  
リーダー

略歴:

1989年 株式会社INAX(現LIXIL)入社。自社CADシステムの開発などを行う中でサーバー構築・運用などを行ない、2018年4月より現職。Public Cloudの利用推進とシステムアーキテクチャ統制などを担当。

LIXILについて



## LIXILについて

LIXILは、世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。



INAX

TOSTEM



*American  
Standard*

RICHELLE

S P A G E

Interio

exsior

## › 会社概要

LIXIL



株式会社 LIXIL

設立年月日 1949年9月19日

本社所在地 東京都江東区大島 2-1-1

従業員数 59,360人(連結従業員数)  
※2020年11月現在



株式会社LIXILは、2011年に国内の主要な建材・設備機器メーカー、トステム、INAX、新日軽、サンウエーブ工業、東洋エクステリアの5社が統合して誕生しました。20世紀の初頭以降、これら5社の創業者は革新の時代の幕を開け、日本の建材・住生活産業のトップブランドとなるLIXILの礎を築きました。さらに、海外企業の統合を通じて、19世紀にさかのぼる更に長い歴史を誇るグローバルブランドがLIXILに加わりました。

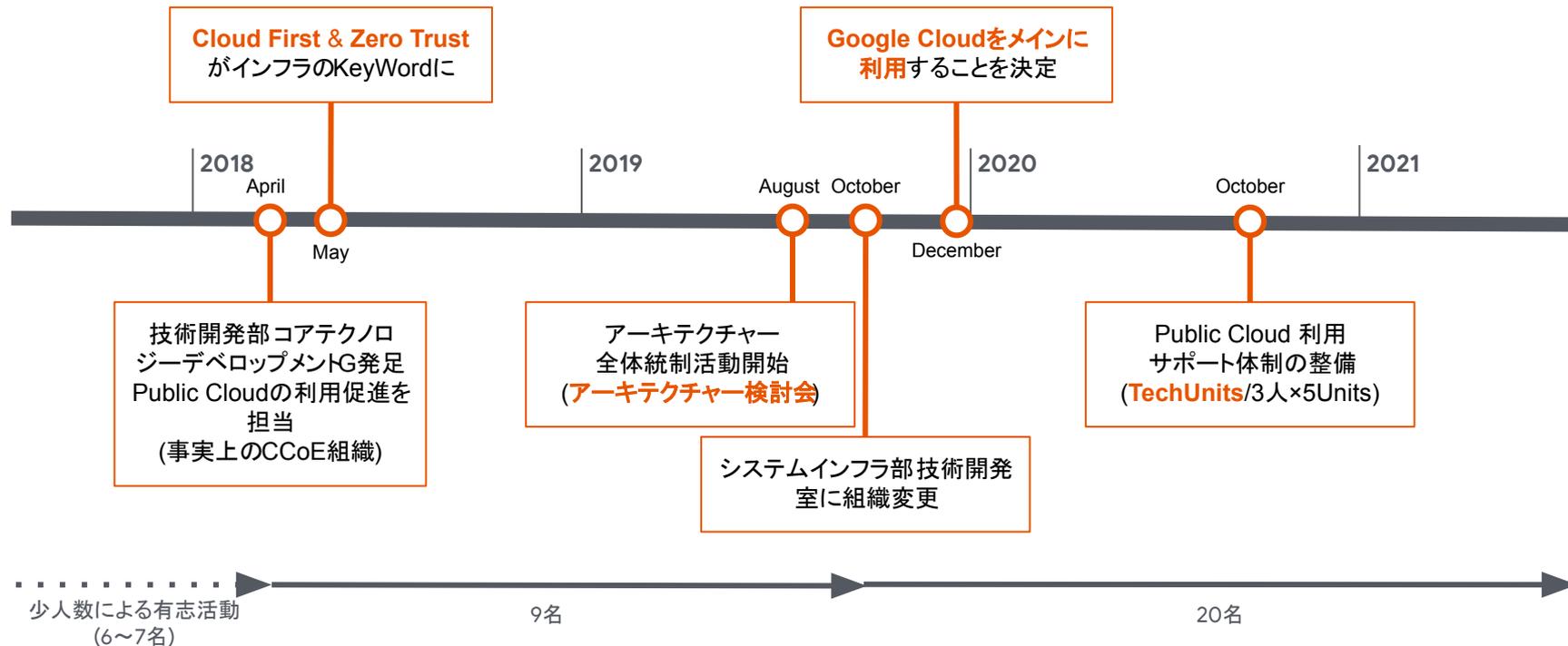
## > 商品



CCoE活動の  
これまで



## › LIXILにおけるCCoE活動のこれまで



## › Cloud Firstへの壁

1 過去の失敗によるトラウマ

2 Public Cloudに対する理解不足

3 経験不足

新しいことに挑戦することへの不安

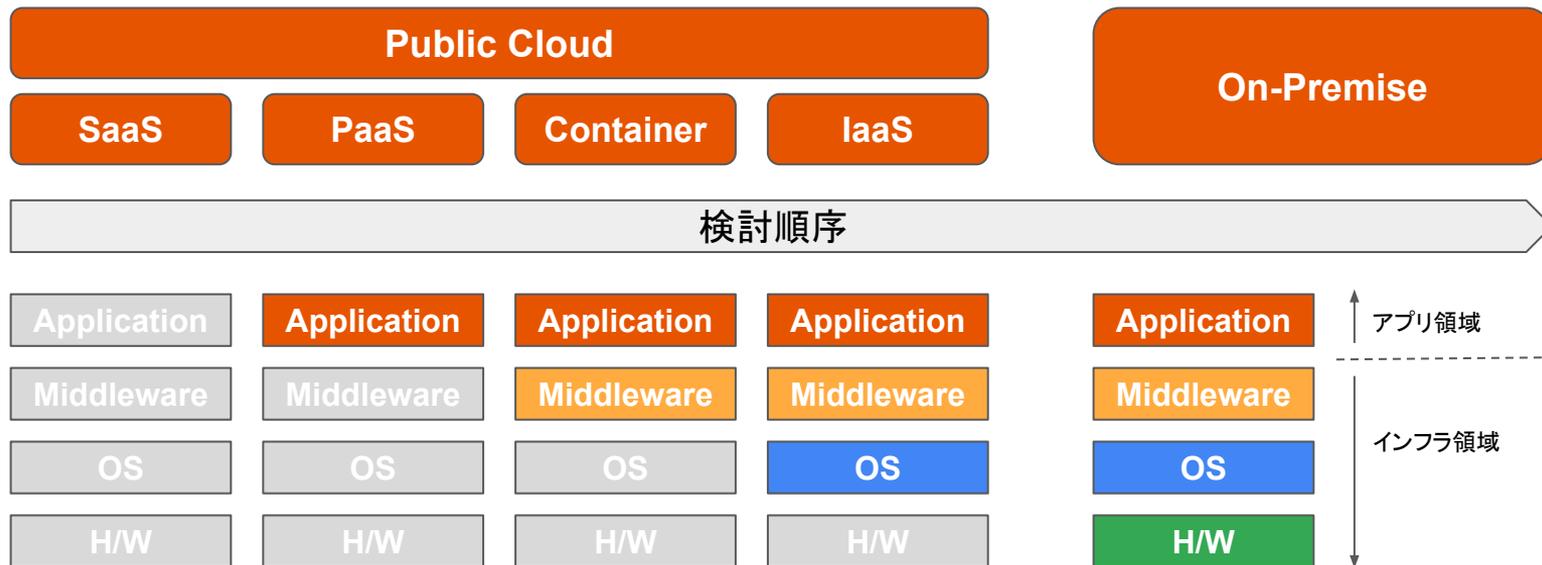
## › Cloud Firstを実践するためのアプローチ

1 開発担当者だけでなくユーザ部門にも Public Cloudについて理解してもらう

2 若い人たちにPublic Cloudの良さを知ってもらう

3 アーキテクチャー統制による Public Cloudへの誘導(全開発案件をアーキテクチャー検討会に)

## › インフラ選択の優先順位



## › 自己紹介



辰巳 百絵子 (たつみ もえこ)

株式会社LIXIL

Digital部門 システムインフラ部 技術開発室

略歴:

2016年 株式会社LIXIL入社 メール、TV会議システム、社内SNSなどのコーポレートITシステムの導入・運用を担当し、2019年3月から現職。Public Cloudの利用推進と開発サポート、ID管理・認証基盤の運用構築を担当。

实施内容



## › 開発者への教育とサポート

### 1 Google Cloudを始めるきっかけ作り

- ✓ 各回**100名(のべ600名)** ランチセッション(計6回)
- ✓ 超初級編 ハンズオン Bootcamp Compute Engine編 参加数**150名**
- ✓ **新入社員による** 超初級編 ハンズオン Bootcamp BigQuery編 参加数**150名**

### 2 利用ユーザへの技術サポート

- ✓ アーキテクチャー検討会
- ✓ Tech Unitsによる**開発部へ入り込んだ**技術サポート
- ✓ 標準化ドキュメント作成

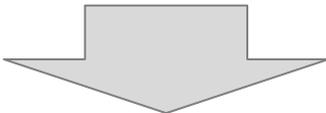
### 3 Google様との協力によるサポートの強化

- ✓ 2019/10 Google Premium Support 加入(250ケース対応)
- ✓ 2020/10 Google Premium Support US Region加入し**グローバル化**
- ✓ 開発メンバーが自由に参加できる**相談会形式**のOffice Hour開催(週1回)

## › LIXILでの”標準化”

一般的に”標準化”とは...

- インフラ部門として、ガバナンスを利かせるため
- インフラ部門が定めたルールを守ってもらうため



**開発者が自走化できるためのガイドライン**

- 開発者目線
- ベストプラクティスを集める

## › Tech Unitsについて

### 1 役割

- Cloud Firstを推進するため、開発担当者の技術力不足を補うサポート部隊
- 構築スキルのトランスファーを行う

### 2 メンバー構成・ルール

- システムインフラ部 技術開発室、Digital Technology Center テクノロジーGの2部署を15名をシャッフルし、3名を1Unitとしたチーム制(今年の新入社員も)
- 個人ではなく必ずUnit単位で仕事を引き受けるスタイル
- 定期的にメンバーはシャッフル

### 3 目的

- 開発担当者にも技術力をつけてもらう
- Unitとしての技術力の向上を図る
- 個々の技術力をあげる

CCoE活動の  
これから



## › 今後の活動

### 1 Google Cloud”布教”活動のグローバル展開

- グローバルのCCoEメンバーへの教育
- アーキ検討会グローバル化

### 2 開発者が自走化できる仕組み作り

- 標準ドキュメント整備・展開
- 新たな勉強会の実施

### 3 成長し続けられる CCoEになるために

- Tech Unitsの技術力の向上 & リソースの強化
- 開発全体のスクラム/アジャイル化へ向けたサポートの継続
- Techイベントの開催

## › まとめ

なぜLIXILは”Cloud First”を目指すのか？

1 タイムリーな開発ができること

2 Data Centerからの脱却

3 開発により時間をかけられること

ミッション  
変化する世の中に柔軟に対応し  
LIXILのビジネスを加速させる

**Thank you**